

栗原小だより

新座市栗原 1-5-1 TEL 042-473-7070
HP <http://www.c-niiza.ed.jp/e-kurihara/>

～学校教育目標～
よく考え学ぶ子
心のゆたかな子
たくましい子

令和元年度 12月号
令和元年 12月2日



「わからない」って言えていますか？

校長 保戸田 雅之

「わからない」「できない」が言える子に

授業中、問題の解き方を確認する場面でよく耳にする「いいです。」や、「同じです。」という声。指導している教師は「みんなよく理解している」と、つい安心してしまいます。

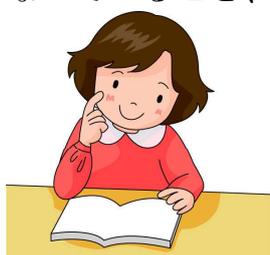
しかし、「本当はわからない。」と思いながらその場の雰囲気流され、わかったふりをしてしまう子が少なからずいます。中には、ノートに書いた不正解の解答をこっそり正解に書き換えてしまう子もいます。これでは、しっかりとした学力が付きません。大切なのは、その場に合わせる協調性ではなく、わからないときに「わからない」とはっきり言える力です。

お互いを理解し合い、仲間と協力して物事を進めることが上手な栗っ子ですが、その良さを生かしながらも、集団に埋もれてしまう「個」を救い出すこと、「わからない」「できない」という意思表示も含めて、自分の考えをはっきりさせる指導に力を注いでいきたいです。

そのために、「わかりたいこと」「できるようにになりたいこと」「疑問に思い、解決したいこと」などを明確にさせ、学ぶ必要感をしっかり高めさせながら学習を進めてまいります。

一人一人の状況は十分把握するよう努めていますが、ご家庭でぜひノート点検をしてみてください。わからないままになっていること、できないままで終わっ

ていることはないか確認していただき、もしあれば、それをしっかり先生に伝えられるようにご家庭での後押しをお願いいたします。



今年も大変お世話になりました

5月にスタートした「令和元年」が、気がつけばもう最後の月です。この2学期も、学習や行事で栗っ子は本当に直向きにがんばっていました。そして、その一つ一つでたくさんの保護者、地域の皆様に見守られ、支えていただいたことに本当に感謝しています。

その中で唯一、懇談会の参加が少ないことが残念です。子供たちのよいところやがんばっているところ、あるいは学級や学年、学校の課題について、共通理解を図ったり、意見を交わしたりできたら、もっと子供たちを成長させてあげられるのではないかと思います。

家庭・地域・学校が目に見える形で協力し合うと同時に、その方針や理念もより一層共有できるように、これからも情報発信・情報キャッチに励んでまいります。

今年も大変お世話になりました。よいお年をお迎えください。

5年生が地域に提案・実践へ

5年生が、国語の学習で、学校をよくする取組や地域にある課題を改善する取組についての提案書を作成しました。そして、「公園のゴミを減らす」「黒目川の危険を減らす」「熱中症対策として公園に緑のカーテンを設置する」などの提案を、直接町会長さんに伝えました。

その提案を町会長さんにも賛同いただき、早速、子供たちが11月の市民清掃に参加するなどの具体的な行動として実行されました。連携の舞台は学校の外へ！コミュニティ・スクールの新たな一歩です。

